

◎関西支部

(1) 第2回学生見学会(山之内浄水場, 鳥羽下水処理場見学会)(44.10.25)

見学先:京都市水道局山之内浄水場, 鳥羽下水処理場

参加者:44名, 参加費:100円

(2) 第3回学生見学会(豊野浄水場, 中浜下水処理場見学会)(44.11.8)

見学先:大阪市水道局豊野浄水場, 大阪市水道本部中浜下水処理場

参加者:113名, 参加費 100円

(3) 学生映画会

上映映画:東名高速道路, プレバクトコンクリート実験, 複線シールド, 喜撰山揚水発電所建設記録第1部

44.11.10 明石工業高専 参加者72名

44.11.11 近畿大学 参加者101名

44.11.12 神戸市立工業高専

参加者130名

44.11.13 関西大学 参加者179名

44.11.14 大阪産業大学 参加者120名

44.11.15 大阪府立工業高専

参加者50名

44.11.17 大阪工科大学(都合により中止)

44.11.18 大阪工業高専 参加者173名
参加者合計 825名

(4) 講習会「土工事における土中

水のあつかい方」(44.11.25~26, 大阪科学技術センター)

題目と講師

1. 土中の水理

大阪府立工業高専助教授

工修 佐藤 邦明

2. 井戸の水理と揚水試験法

岐阜大学助教授工学部

工修 宇野 尚雄

3. 広域地下水の開発と規制工法

京都大学教授工学部 工博 松尾新一郎

4. トンネル工事における湧水対策

国鉄大阪新幹線工事局次長 高山 昭

5. 地下水位低下工法

京都大学助教授工学部

工修 河野伊一郎

6. 地盤の流動化現象とその防止対策

神戸大学教授工学部 工博 谷本 喜一

7. 路床・路盤の含水状態と支持力特性

名古屋大学助教授工学部

工博 植下 協

8. 雨水の流出と水収支の解析法

京都大学教授防災研究所

工博 石原 安雄

9. 土石流の発生機構について

大阪府立工業高専助教授 大同 淳之

10. 山腹崩壊の機構とその予知

京都大学助教授農学部

農博 武居 有恒

参加者:338名(会員:275名, 非会員:63名), 参加費:会員 1500円, 非会員:2000円

(5) 若い会員懇親パーティ(第2回)(44.11.25, 大阪科学技術センター)

参加者:16名, 参加費:無料

(6) Dr. Ekefalk 講演会(44.11.25, 日本生命中之島研修所)

共催:日本鉱業会関西支部・土質工学関西支部・土木学会関西支部

題目と講師:

最近のスウェーデンのロックトンネル工法

Atlas Copco(株) 副社長

Dr. Sture Ekefalk 参加者:28名。

(7) 常任幹事会(第4回)(44.11.21, 好文倶楽部), 出席者:岡田幹事長, ほか11名。

(8) 昭和45年度全国大実行委員会総務部会会場小委員会(44.11.14)(会場下見), 出席者:関係者4名。

(9) 昭和45年度全国大会実行委員会(44.11.21, 好文倶楽部) 出席者:野瀬委員長, ほか43名。

(10) 第41回騒音振動委員会(44.10.27, 好文倶楽部) 出席者:畑中幹事長, ほか13名。

(11) 騒音振動委員会幹事会(第37回)(44.10.27, 好文倶楽部) 出席者:畑中幹事長, ほか4名。

(12) 騒音振動委員会委員交替

(新) 峯本 守 国鉄大阪新幹線工事局調査課長

(旧) 吉村 恒 国鉄建設局線増課長へ転出による。

編集後記

明けましておめでとうございます。1969年があわただしい年末選挙とともに暮れ、いよいよ70年代の幕明けとなりましたが、今年もまた万博、安保と話題の多い年になりそうです。

この新年に当り積算特集号をお送り致します。わが国の土木界も、経済の高度成長とともに活況を続け、幾多の特記すべきプロジェクトを完成し、技術的にも非常に発展を遂げて来ました。

しかし一方その体質を見る時、近代的なりわべの下に、前近代的なよろいがちらついているような感じがするの否めません。

封建制度から近代的制度への移行は、身分制度から契約制度への変化となって現われるといわれます。

しかしわが土木界ではいろいろの特殊な条件のため、他の分野にくらべこの契約制度の精神が完全に体得され

ているとはいい難い実状です。契約の基礎となる積算についても、それぞれの立場、立場で違った方式で行なわれ、体系されたものとなりにくい状況でした。今後土木学会は、わが土木界の脱皮のために、このような問題も真険にとり上げるべき時が来ていると思ってこの特集を試みた次第です。

前例のないテーマで、執筆者の方々にはいろいろご苦勞をおかけしたと思いますが、これが池に投じた一石となって学会員の中でも、このような問題が深く研究され土木界近代化の方向に進む一助となれば幸いです。

今後とも土木技術の範囲を広く解釈し、この種の特集も時々やってみたいと考えております。

今年も会員の皆様のご愛読とご叱声それにご投稿を賜わるよう編集委員、事務局一同お願い申し上げます。

【横山義雄・記】

土木学会誌編集委員

委員 長	森 茂											
委員	阿部博俊	加藤正晴	神田創造	菊川哲士	齋田 登	齋藤健二郎	坂本健次					
	沢田健吉	杉山好信	高尾孝二	富田 勇	豊島 修	鳥居敏則	新谷洋二					
	西山友昌	丹羽俊彦	布目恵造	藤重邦夫	矢部正宏	山本弥四郎	吉田良和					
	若木三夫											
	(北海道支部)	(東北支部)	(関東支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中国四国支部)	(西部支部)					
	五十嵐日出夫	福田 正	猪瀬二郎	河村三郎	井上頼輝	門田博知	彦坂 照					
	高橋 毅	沼田 淳	小田純夫	松浦 聖	榎木 亨	藪本健作	永島永起					
委員兼幹事	及川 陽	片山恒雄	渋谷祥夫	横山義雄								

第 16 回 海岸工学講演会講演集頒布

第 16 回海岸工学講演会は昨年 12 月 11~12 日の両日大阪市において行なわれます。今回の講演発表数は 56 編を数えこれらを収録した講演集は 380 ページを越えるものとなりました。本講演集ご希望の方は土木学会へお申込み下さい。

体 裁：B5判 8ポ2段活版印刷 384 ページ
 定 価：3000 円 送 料：150 円

会員の入退会について(昭和 44.11.1~11.30)

入 会	67 名	(正 25 学 29 特 1 D 3)
退 会	17 名	(正)
死 亡	1 名	(正)
転 格	118 名	学 → 正 118

特別会員の入退会

○ 入 会			
昭和 44.11. 4	特 1 D	日本電信電話公社東海電気通信局土木工事部	名古屋市中区大須 4-9-60
" 44.11. 6	"	日本電子計算(株)大阪支店	大阪市北区松原町27 富国生命ビル
" 44.11.13	"	日本道路公団本州四国連絡道路調査事務所	神戸市葺合区生田町 434

会 員 現 在 数

名 誉	正会員	学生会員	賛助	特級	特 1 A	特 1 B	特 1 C	特 1 D	特 2	合 計	前月比(増)
67	22 137	6 252	30	19	16	56	211	357	83	29 228	(49)

正会員 勝原享三君 五洋建設(株) 昭和 44. 6. 16 死去 63 才

昭和 45 年 1 月 10 日印刷

昭和 45 年 1 月 15 日発行

土木学会誌 第 55 卷 第 1 号

印刷者 大沼正吉

印刷所 株式会社技報堂

東京都港区赤坂 1-3-6

口絵写真印刷者 若林孟夫

口絵製版印刷所 榑若林原色写真工芸社

東京都港区芝倉杉川口町 20 番地

発行者 羽田 巖

発行所 社団法人土木学会

東京都新宿区四谷一丁目

定 価 250 円(送料 30 円)

振替 東京 16828 番

電話 (351) 5130(編集直通)・5138・5139番